

地域民主主義と メディアの役割

日時:2016年7月9日(土)14時～

ゲスト:永田浩三さん(武蔵大学社会学部教授)



1977年NHK入局。ディレクターとして『ぐるっと海道3万キロ』、NHKスペシャル『社会主義の20世紀』等を担当。プロデューサーとして『クローズアップ現代』『NHKスペシャル』等を制作。『ETV2001』の編集長。国谷裕子キャスターらと『クローズアップ現代』で菊池寛賞を共同受賞。2009年から武蔵大学社会学部メディア社会学科教授。精神保健福祉士。

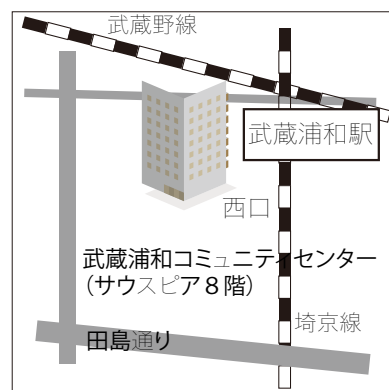
主著『ヒロシマを伝える～詩画人・四國五郎と原爆の表現者たち～』(WAVE出版7月刊行)『奄美の奇跡』(WAVE出版)、『NHKと政治権力』(岩波現代文庫)『ベン・シャーンを追いかけて』(大月書店)ほか。映画『60万回のトライ』の共同プロデューサー。『表現の不自由展』共同代表。

会場:武蔵浦和コミュニティセンター 第4集会室

JR武蔵浦和駅西口駅前

サウスピア8階

会費:500円



埼玉市民ジャーナリズム講座

埼玉県には古くから独自の歴史と文化があります。この埼玉がより一層活性化、発展するために、地域に根ざした多様な「市民に開かれたメディア」の存在と活躍が不可欠です。今一度、多くのみなさんと、ジャーナリズム、メディアリテラシー、地域文化の育成などの課題を、この『埼玉・市民ジャーナリズム講座』の場を通じて共に考え、情報発信していきたいと考えています。この企画は地元・地方紙「埼玉新聞」の紙面協力のもと2014年3月から取り組んでいます。どなたでも参加できますので、お待ちしております。

■主催団体:埼玉市民ジャーナリズム講座実行委員会

埼玉新聞サポーターズクラブ 日本機関紙協会埼玉県本部 NPO法人埼玉情報センター さきたま新聞

■連絡先 埼玉新聞社・文化部 菊池正志 電話 653-9027 FAX048-653-9028 office@sai-tama.jp

埼玉・市民ジャーナリズム講座 第2期・第3期 講座一覧

	開催日時	テーマ	ゲスト	会場
13	2015年 3月8日	ジャーナリズム・メディアの再生 ～戦後70年・未来への課題～	むのたけじ氏	埼玉トヨペット 会議室
14	4月11日	戦取材とは	元朝日新聞記者 井川一久氏	さいたま市市民活 動サポセン
15	5月9日	地域から 市民のジャーナリズムは	埼玉新聞タウン記者 栗原 和江氏・比企ネットワーク 代表 石井碩行氏	さいたま市市民活 動サポセン
16	6月13日	沖縄から見た日本 -本土メディアは今、沖縄を	琉球新報東京支社 仲村良太氏	埼玉会館
17	7月11日	変貌する政治家たち -安保法制と政治の行方	元共同通信編集委員 栗原猛氏	常盤公民館
18	8月8日	いま、語りつぐこと -誌と戦争	詩人 さいたま文芸家集団 副代表 中原道夫氏	さいたま市市民活 動サポセン
19	10月10日	ジャーナリズムのこれから ～市民活動がメディアを支える～	東京新聞読者応援室長 鈴木賀津彦	さいたま市市民活 動サポセン
20	11月14日	主要メディアの危うさ ～今こそ市民ジャーナリストの育成を～	NPO法人アジア障害者教育 協会理事長青木陽子氏	さいたま市市民活 動サポセン
21	12月12日	女性が、市民が変えるジャーナリズム ～女性とメディア」の現場から～	フリーライター・編集者 池田恵美子氏	武蔵浦和コミセ ン第4集会室
22	2016年 1月9日	今年は地方新聞役割更に大きく ～埼玉新聞の現場とタウン記者～	吉田俊一埼玉新聞編集次長 氏とタウン記者さん	武蔵浦和コミセ ン第3集会室
23	2月13日	つながるつなげるフェスタ～今市民ジャー ナリズムは～第3期埼玉市民ジャーナリズム開校～	斉藤貴男氏	市民会館うら わ7階会議室
24	3月12日	マスメディアと世論 -政治のリテラシーをいかに育むか-	門奈直樹氏 立教大学名誉教授	下落合コミュニ ティセンター
25	4月9日	討論の自由と政治 -今声を出すことは-	思想家 政治評論家 鈴木邦男氏	武蔵浦和コミセ ン第4集会室
26	5月14日	地域民主主義～沖縄から。 私たちは。	沖縄タイムス報道部長 宮城英作氏	さいたま市市民活 動サポセン
27	6月11日	デジタル時代の人権・国際的に考える	寺中誠氏	武蔵浦和コミセ ン第4集会室
28	7月9日	地域民主主義とメディアの役割	武蔵大学社会学部教授 永田浩三氏	武蔵浦和コミセ ン第4集会室
29	8月6日	調整中	調整中	武蔵浦和コミセ ン第4集会室